

# 台風の「強さ・大きさ」の目安は？

気象庁によると、台風の「強さ」や「大きさ」を示す目安として、次のような表現を用いています。

●強さ＝最大風速(単位:m/s)

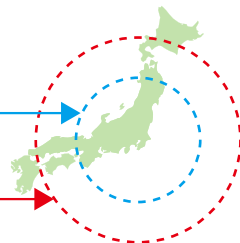
強い	33m～44m未満
非常に強い	44m～54m未満
猛烈な	54m以上

●大きさ＝風速が15m/s以上の半径

大型 (大きい)	500km～800km未満
超大型 (非常に大きい)	800km以上

これを組合せ「大型で非常に強い」などと表現します。仮に、最大風速は33m以下と弱く、大きさが650kmと大きい場合は「大型」の台風と、大きさだけの表現になります。

ちなみに、熱帯の海にできる低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、このうち最大風速が17m以上(10分間平均)になると「台風」と呼ぶそうです。



日本列島との比較  
(イメージ)

出典：気象庁HPより